

市政記者各位

地方独立行政法人福岡市立病院機構  
福岡市民病院

### 福岡市民病院における重油の流出について

福岡市民病院敷地内において、非常用発電機の燃料用の地下埋設配管から土壌及び地下水へ重油が流出していたことが確認され、流出範囲の調査を行った結果、流出元から隣接する民地を含む約7mの範囲に流出したことが判明しました。

現在、土地の所有者と協議の上、土壌及び地下水の浄化作業並びに地下水の水質モニタリングを行っておりますが、新たな流出は確認されておらず、また、周辺住民から井戸水の異臭等の通報もありません。

この度このような事故を起こしたことにしまして、関係者の皆さまに深くお詫びするとともに、再発防止に努めてまいります。

#### 記

1 流出物 : A重油 (約700L)

2 流出箇所 : 福岡市博多区吉塚本町13番1号  
福岡市民病院敷地内及び隣接地の一部  
非常用発電機の燃料用配管 (埋設) 周辺

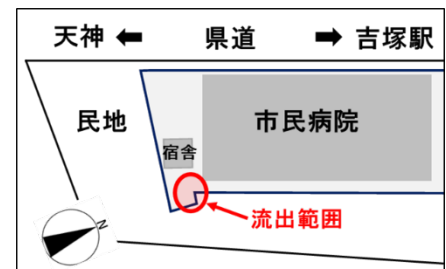
3 流出原因 : 配管の老朽化

4 経緯 : 令和5年1月 非常用発電機の点検時に重油消費量の増加確認  
3月 配管気密試験により配管の異常確認  
5月 埋設部の試掘調査を実施するも流出は確認できず  
6月 仮設配管設置  
10月 掘削調査・ボーリング調査により、  
土壌への重油流出確認 (6日)  
地下水への重油流出確認 (11日)  
11月 流出範囲確定のためのボーリング調査実施  
観測井戸を設置し、地下水の水質モニタリング開始  
12月 土壌と地下水の浄化作業開始

5 今後の対応 : 重油が流出した土壌と地下水の浄化作業並びに地下水の水質モニタリングを継続してまいります。

6 再発防止策 : 非常用発電機の燃料用の配管を新たに地上に設置し、定期的に点検を実施します。

(周辺位置図)



#### 【問い合わせ先】

地方独立行政法人福岡市立病院機構  
福岡市民病院 総務課 吉岡、川口  
電話 : 092-632-1401